

令和4年1月27日

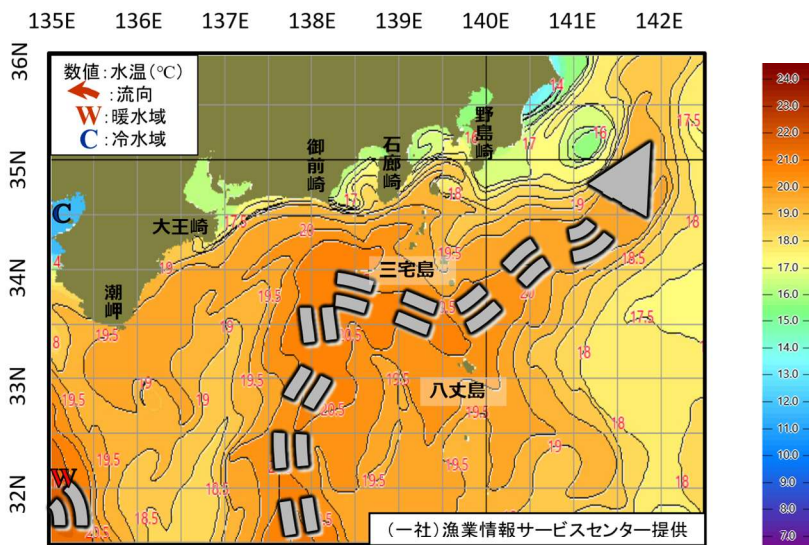
＜黒潮流路＞

1月27日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖から、潮岬沖の北緯29度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上して遠州灘に接近し、その後房総半島沖へ流れています。今月24日頃まで熊野灘付近をS字状に通過していた黒潮の屈曲部の一部が切り離された模様です。

＜渥美外海の状況＞

現在、遠州灘付近に切り離された黒潮の一部が存在しているため、高温傾向が継続しています。また、伊勢湾の湾口付近に顕著な潮境が形成されています。現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われませんが、FRA-ROMSの海況予測では、黒潮の屈曲部が徐々に東に移動し、典型的なA型に近づく予測となっています。

1月27日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



1月27日の水温分布と黒潮流路（広域図）

